

## 会 議 録

会議の名称	令和5年度第4回川越市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 子ども・子育て会議
開催日時	令和5年11月2日(木) 14時05分 開会 ・ 16時05分 閉会
開催場所	川越市役所 本庁舎7階 第1・第5委員会室
議長(委員長・会長)氏名	鈴木晶夫副会長
委員出欠状況	出席：14名 鈴木副会長、今野委員、松本委員、小寺委員、影山委員、井守委員、山田誠次委員、山本委員、水谷委員、田村委員、長峰委員、榎本委員、近藤委員、伊藤委員 欠席：5名 平野会長、中田委員、山田紀子委員、堀口委員、春原委員
傍聴人	0人
事務局職員職名	こども未来部長、こども未来部副部長(こども政策課長)、こども育成課長、こども家庭課長、こども家庭課副課長、保育課長、保育課副課長、療育支援課長、児童発達支援センター副所長、健康づくり支援課長、教育財務課長、こども政策課副課長、こども政策課副主幹、こども政策課主任、こども政策課主事
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 議題 (1) (仮称)川越市こども計画の策定に向けた調査について (2) 第2期川越市子ども・子育て支援事業計画の達成状況について (3) 川越市保育ステーションについて 4 その他 5 閉会

配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・委員名簿</li> <li>・第3回子ども・子育て会議 意見まとめ …… (資料 1)</li> <li>・調査票(小学5年生対象) …… (資料 2-1)</li> <li>・調査票(小学5年生の保護者対象) …… (資料 2-2)</li> <li>・調査票(18歳～39歳の者対象) …… (資料 3)</li> <li>・第2期川越市子ども・子育て支援事業計画令和4年度達成状況及び計画達成状況 …… (資料 4)</li> <li>・川越市保育ステーションの課題について …… (資料 5)</li> </ul>
会議要旨	<p>3 議題</p> <p>分科会開催に先立ち、事務局より、会長が欠席のため、川越市社会福祉審議会規程に則り、副会長が会長の職務を代理する旨の説明があった。</p> <p>(1) (仮称)川越市こども計画の策定に向けた調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議の結果、「小学5年生対象」、「小学5年生の保護者対象」及び「18歳～39歳の者対象」の調査票について承認され、事務局において調査実施に向け、準備を進めることとなった。</li> </ul> <p>(2) 第2期川越市子ども・子育て支援事業計画の達成状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員からの意見・質問等については、11月16日(木)までに会議シートにて事務局に提出することとし、次回分科会にて当該意見等及び回答を資料としてまとめることとなった。</li> </ul> <p>(3) 川越市保育ステーションについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種々意見交換をした後、当該課題については引き続き、検討していくこととなった。</li> </ul> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の分科会への出席を最後に、本分科会委員を退任される水谷委員及び伊藤委員より挨拶があった。</li> <li>・事務局より次回分科会の開催日程について、年明け1月末又は2月初頭の開催を予定しており、日程等が確定次第、改めて開催通知等で案内を行うとした。</li> </ul>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>※本資料では以下のように表記する。 川越市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 (川越市子ども・子育て会議) → 分科会</p> <p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 議題</p> <p>[議題(1)] (仮称)川越市こども計画の策定に向けた調査について 資料の説明に先立ち、事務局より既に回答期間が終了した2つの調査 「未就学児の保護者を対象とした調査」及び「放課後児童クラブ(学 童保育)利用保護者を対象とした調査」の回答状況についての中間報 告を行った。なお、両調査とも現時点での回答率は50%弱となっ ている。</p> <p>(資料1) その後、事務局より、資料1に基づき、第3回分科会及び会議シート により提出された各委員からの意見及び意見に対する事務局の見解 について説明を行った。</p> <p>【各委員からの意見】 事務局からの説明に対し、委員から質問や意見があれば伺いたい。</p>
副会長	
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを利用しての回答について、設問数が多い中で回答者が楽しんで回答できるような工夫はなされているのか。</li> <li>・インターネットでの回答が多くなった状況にあっても紙媒体でのアンケートも今後も続けていくという認識でよいのか。</li> <li>・不登校の児童や生徒への対応について、自宅への調査票の郵送は行わないとのことだが、回答期間はどの程度を見込んでいるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットでの回答について、既に実施済のアンケートにおいても回答の進捗状況が把握できるような仕様となっている。今後、実施予定の子ども対象のアンケートにおいても、インターネットで</li> </ul>

	<p>の回答については、イラスト挿入の可否を含め、委託業者と調整の上、進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙媒体でのアンケートについては、今後もこれまでどおり継続し、インターネットでの回答と併用していく予定。</li> <li>・回答期間については3週間として設定する予定だが、回答期間経過後に提出された回答についても可能な限り反映させられるように委託業者と調整していく。</li> </ul> <p>(資料2-1・資料2-2・資料3)</p> <p>その後、事務局より資料2-1、資料2-2及び資料3に基づき、第3回分科会からの修正点を中心に説明を行った。</p> <p>なお、該当箇所についてはグレーでハイライト(※ホームページ掲載時では黄色等)している。</p> <p>また、調査開始に向けて準備を進める必要があることから、本分科会にて調査の内容について決定させる必要がある旨を併せて説明した。</p> <p>第3回分科会からの主な修正点は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2-1における冒頭の調査説明部分において、自身で回答することが難しい子どももいることから、事務局修正として保護者が代理で回答することも可能である旨の記載を追加した。</li> <li>・資料2-2の問46-1における放課後に参加させたい活動を列挙した選択肢において、現在、多様な活動が行われている実態を踏まえ、新たに「スポーツ、運動などの活動」、「絵画、工作、書道などの芸術活動」及び「歌や演奏などの音楽活動」の選択肢を加えた。</li> <li>・資料3の問26のリード文について、影山委員からの意見にあったワーディングの観点から事務局にて修正を行うとともに、同設問の選択肢について、支援策の内容が未就学児を想定したものに偏っていたため、就学後の支援策の選択肢を追加した。</li> </ul> <p>なお、上記以外の修正点については、基本的に資料1の各委員からの意見に基づくものとなっている。</p> <p><b>【各委員からの意見】</b></p> <p>事務局からの説明に対し、特に意見を出していただいた委員から何かあれば御発言をお願いしたい。</p> <p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3の問22について、リード文や選択肢に記載されている「結婚」には、パートナーは含まれるのか、それとも法律上の婚姻関係のみを想定しているのか。</li> </ul>
--	--

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法律上の結婚のみではなく、事実婚も含めて回答いただきたいと考えている。設問内に注意書き等を追加する等、意図が伝わるよう修正させていただく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2-1の問2について、選択肢に「きょうだい」との記載があるが、資料3の選択肢には「兄弟姉妹」となっているため、「しまい」を追記してはいかがか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御指摘のとおり修正させていただく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2-1の冒頭の説明部分について、小学5年生には理解することが難しい表現が含まれているように感じるため、小学5年生を対象としたアンケート調査票については、最低限の文言のみを記載する等、わかりやすくしたほうがよいと感じた。</li> <li>・複数の選択肢を選ぶことができる設問について、選択肢1つのみを選んで回答した方と複数の選択肢を選んだ方とでは同じ回答でも重みが異なるのではないかと考えられる。回答の傾向を把握するためには、ある程度、選択できる回答数を制約することが必要ではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学5年生を対象とした調査票の説明部分についてはこのままとして、調査票とは別に1ペーパーの説明紙を配布することで対応させていただく。なお、当該ペーパーにはイラストを織り交ぜる等、工夫しながら分かりやすい表現で作成したいと考えている。</li> <li>・複数回答の設問については、これまでの調査結果との経年変化を把握する必要があること、また回答者の意見や関心を幅広く集めたいといった趣旨から現状の内容で対応させていただきたい。頂いた意見については、次回以降の調査の際、調査結果の分析等において工夫の余地がないか研究していきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3の問23、問26について結婚、出産を希望していない人は回答する必要がないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御指摘の設問については、全員に回答をお願いしたいと考えているため、注意書きを追加する等、対応させていただく。</li> </ul>

## [議題(2)]

第2期川越市子ども・子育て支援事業計画の達成状況について

## [議題(3)]

川越市保育ステーションについて

※議題2及び議題3については関連性が高いため、続けて両議題の議論を行った。

事務局より資料4及び資料5に基づき、説明を行った。

(資料4)

説明内容としては、資料の構成内容や達成状況に係る評価基準等の概要について言及するとともに、各事業の達成状況に係る補足といった大枠の説明に留めた。

そのため、当該議題に関する意見や質問等については、11月16日(木)を期限として会議シートにて事務局に提出いただき、次回分科会にて改めて回答する旨を併せて説明した。

(資料5)

川越市保育ステーション事業における利用状況等の現況及び事業として抱えている課題について説明を行った。

加えて、当該課題を改善していくための川越市としての今後の方針について説明を行い、当該方針に対し、委員からの意見を求めた。

説明内容について概要は以下のとおり。

- ・保育ステーション事業において、一時預かりの利用者数は順調に推移している一方、送迎保育の利用者数は伸びていない。
- ・送迎保育の利用者数を増加させるため、昨年度は特に広報面を強化する取組みを行ったが、現在、利用者数の増加には至っていない。
- ・今後、送迎保育については利用対象年齢の見直し(現在は、3歳児から未就学児までが対象)、利用料金の見直し(送迎児童に係る保育料が月額3,000円、送迎バス利用料が月額3,000円)の検討が必要と考えている。
- ・一時預かりについては、今後、定員に係る年齢枠の撤廃(現在は、0歳児:2名、1歳児:6名、2歳児:5名、3歳児:3名、4歳児:2名、5歳児:2名の計20名と定められている)や利用要件の緩和等、弾力的に運営していくことを検討する。

副会長	<p>【各委員からの意見】</p> <p>事務局からの説明に対し、委員より意見があれば伺いたい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業については川越市行財政改革推進計画（アクションプラン）に入っているのか。事業内容については、素晴らしいものだと思うが、必要な予算が確保できない等、財政上の課題により事業として伸び悩んでいるのかを確認したい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育ステーション事業は、川越市行財政改革推進計画（アクションプラン）には掲載されていないが、保育事業全般として市単独費用の見直しが必要となっている。</li> <li>・保育ステーション事業については、国庫補助金等も含まれているため市単独事業ではないものの、利用者数の低迷等から見直しが必要であると認識している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これだけ立地的に優位性の高い施設で実施されている事業であるのに、送迎保育の利用者数が少ない状態にあるのはもったいないと感じる。</li> <li>・保育のみではなく、「課外活動を行うことができる」、「習い事として通わせることができる」といったプラスアルファの魅力を保護者が感じるような工夫がないと利用者は集まらないのではないかと考える。</li> <li>・施設が保育ステーションとしての位置づけなので難しいかもしれないが、施設を利用できる年齢層を撤廃し、日ごとに様々な年代を対象としたイベントを実施する等、人を集めることも必要ではないかと考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業のシステム上、保護者と保育士が顔を合わせる機会が少なく、連携を取ることが難しい、子どもの様子を共有できないのは互いにとって不安要素であり、利用者が増えない要因ではないかと考える。</li> <li>・保護者としても、事業のシステム上、預け先の状況が分からない中、当該事業を利用しようと思うかは疑問。</li> <li>・バスでの送迎についても、約1時間バスに乗るといのは子どもにとっても負担が大きいのではないかと考える。</li> <li>・ニーズとしては、保護者の通院時や買い物等の際に子どもを預かってくれる一時預かりのほうが高いと思われることから、一時保育事業の拡充を図るほうが立地的な優位性も生かせるのではないかと考える。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業のニーズを検証するため、各保育所を利用している方の住所と保育園の位置関係について検証を行っており、傾向としては、各園の近隣に住んでいる方が預けている傾向が高い一方で、園の特性により、遠方の園を利用している方も一定数あることがわかっている。引き続き、分析を行っていくが、送迎保育については、現状の保育ニーズに適しているとは言い難いと感じている。</li> <li>・一時預かりについては利用者数も増加しており、ニーズが高いことがわかっていることから、今後、一時預かりの比重を重くすることも考えられる。あるいは、別の形での施設の使い方も考えられるが、今後、更なる現状分析、関係各所との協議等を行いながら制度の見直しを検討していきたい。</li> <li>・現在、国で「こども誰でも通園制度」について検討している。川越市では、まだ待機児童もいる中、直ちに対応することは難しいと思うが、同制度と一時預かりは近い種類の事業といえるため、国の状況も注視したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロン等で保護者の方から様々な意見をいただいている。その中で、なるべく子どもに負担をかけずに働きたいといった意見や、働かなければならないが、できることなら子どもと一緒に過ごしたいといった意見が多くあった。</li> <li>・子どもを長時間預かってもらえる送迎保育が必要な保護者もいると思うが、子どもへの負担といった観点から考えると、利用者が伸びないことも納得できる。</li> <li>・保護者の方と話をしている、以前よりも車を利用される保護者の方が少なくなっている印象を受けている。そのため、やはり遠方よりも自宅近くの保育園等を選ぶ方が増えているのではないかと思う。</li> <li>・一時預かりについて利用希望はあるものの、予約が取れず利用できないとの意見や、登録が面倒で利用したい時にできないといった意見を聞くことが多く、他の委員と同様にニーズは高いと感じている。そのため、一時預かりに関する相談受付や受入定員を拡充するのもよいと考える。</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎保育では保育園への送迎のみを実施しているが、範囲を広げて障害のある子どもの児童発達支援センター等への送迎や、国で検討している「こども誰でも通園制度」において、送迎手段を活用する仕組みを検討してみてもいいのではないか。</li> <li>・これからは自治体が横並びで保育サービス、福祉サービスを進めるのではなく、各自治体が独自のサービスを進めていく必要があると思う。</li> </ul>



委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越市のホームページを改善する必要があると感じている。パソコンやスマホをあまり使用しない年配の方々ではなく、若い世代からHPが見づらいといった要望を多くいただいていることから、ポスター等で事業の周知を進めても、本当に事業の利用が必要な方に、必要な情報が届いていないのではないかと思う。そのため、具体的な利用の検討まで利用者が至らないのではないのか。</li> <li>・例えば、所沢市の子育てに関するホームページでは、たくさんの子育てに関する情報がうまくまとめられており、とても見やすく、必要な情報を収集しやすいページとなっているが、川越市のホームページは階層が複雑で、必要な情報まで結局たどり着けなかったという話も聞く。情報化社会の現代において、保護者も自ら情報を関連ホームページから得ようとするため、ホームページの改善については既に対応いただいていることは承知だが、更に改善していくことが必要と考える。</li> <li>・今後、事業を見直していくにあたり、現場の方たちを巻き込んでいく必要があると思う。現場の方たちから意見を聞き、吸い上げていくことで施設を更により良く活用していけると思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎保育について、利用率が低い等の課題が多いということを再認識した。今後、対象年齢を下げる方向で検討すると説明があったが、子どもたちの安全面を最優先に考えて検討を進めていただきたい。</li> <li>・一時預かりについては、定員に係る年齢枠を撤廃する検討を行うという説明があったが、当該対応に係る保育士の人員の確保が懸念されるため、検討するにあたり、その点も改善しつつ進めていただきたい。</li> </ul> <p><b>4 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の分科会への出席を最後に、本分科会委員を退任される水谷委員及び伊藤委員より挨拶があった。</li> </ul> <p>その後、事務局より事務連絡を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議シートについて、資料2-1、資料2-2及び資料3に係る意見等については11月7日（金）までに、それ以外の本日の議題に係る意見等がある場合、11月16日（木）までにメール、郵送、FAXにて提出をお願いしたい。</li> <li>・第5回分科会について、年明けの1月末又は2月初頭に開催する予定。日程等が確定次第、改めて開催通知等を送付させていただく。</li> </ul> <p><b>5 閉会</b></p>